

食は沖縄を救う Part3

～ 沖縄大学が管理栄養士を養成する意味～

沖縄大学は「地域共創・未来共創の大学へ」という建学の理念を踏まえ、2019年度健康栄養学部管理栄養学科（仮称）を設置認可申請中です。一昨年5月、本年1月の「食から地域を変える」と題した講座の第3弾。今回は沖縄大学の番地と同数、555回を数える土曜教養講座で、GOが3回続く勢いのある沖縄大学の挑戦を広く地域の方々にお知らせすべく創立60周年記念講座として企画しました。基調講演で「沖縄県内で管理栄養士養成がなぜ必要か」をお示しして、シンポジウム及びフロアディスカッションでは「沖縄大学ではどのような管理栄養士を養成するのか」について討議を行います。※学部名・学科名は予定であり変更になる場合もあります。

日時 2018.6/30 土

時間 14:00 ▶ 17:00

場所 沖縄大学アネックス共創館

登壇者



田仲 秀明

Hideeki TANAKA
(医療法人秀明会 田仲医院 院長)

1960年那覇市生まれ。1987年琉球大学医学部卒業（第1期）。琉球大学附属病院、沖縄県立南部病院、豊見城中央病院を経て現職。内科医。研究分野は肥満・糖尿病・メタボリックシンドローム。



新城 澄枝

Sumie SHINJO
(沖縄大学事務局参与)

元・琉球大学教授（専門：栄養教育）。栄養学修士（女子栄養大学）。著書「食物繊維—基礎と臨床—」、「沖縄の食生活と健康・長寿」等。現・沖縄大学事務局参与。



新垣 慶子

Keiko ARAKAKI
(前とよみ生協病院栄養管理室 室長)

1977年徳島大学医学部栄養学科卒業。管理栄養士、栄養学士。大阪府立千里救命救急センター、沖縄協同病院、とよみ生協病院と医療施設の管理栄養士として35年間勤務し、昨年退職。現在は沖縄調理師学校食品学講師。



我那覇 ゆりか

Yurika GANAHA
(宮古島市立平良小学校給食調理場／西辺小学校 沖縄県学校栄養職員)

那覇市出身。管理栄養士。琉球大学教育学部（栄養士養成課程）卒業、同大学院修了。沖縄県健康づくり財団、琉球大学にて勤務。現在は学校給食の給食管理、食育に励む。



宮良 恵美

Megumi MIYARA
(琉球大学医学部保健学科 助教／臨床検査技師／農学博士)

1998年琉球大学医学部保健学科卒業。鹿児島大学大学院連合農学研究科進学後、(株)トピカルテクノセンター 研究員を経て、現職。沖縄県産食材の機能性を研究。



コーディネーター
山代 寛

Hiroshi YAMASHIRO
(沖縄大学副学長)

1961年松江市生まれ。1987年琉球大学医学部卒業（第1期）。1992年鳥取大学大学院修了 医学博士。岡山県の井口会総合病院勤務（外科、禁煙外来）を経て、2008年から沖縄大学人文学部福祉文化学教授。2017年より同大学副学長。

プログラム

- 14:00 開会
- 14:00 基調講演 「満足できない脳から足るを知る脳へ～玄米による脳科学的アプローチ～」
田仲 秀明（医療法人秀明会 田仲医院 院長）
- 14:30 基調講演 「沖縄でなぜ管理栄養士養成が必要なのか」
山代 寛（沖縄大学副学長）
- 15:00 シンポジウム 「食は沖縄を救う～沖縄大学が管理栄養士を養成する意味～」 コーディネーター：山代 寛（沖縄大学副学長）
「管理栄養士の仕事について総論的なお話」 新城 澄枝
「臨床での管理栄養士の役割について」 新垣 慶子
「学校給食の充実と食育の推進を担う管理栄養士」 我那覇 ゆりか
「沖縄産食材の機能性～健康食品開発における研究の重要性～」 宮良 恵美
- 16:00 休憩
- 16:15 フロアディスカッション・質疑応答
- 17:00 閉会

聴講料
無料

事前予約不要

後援

(一社) 沖縄県医師会
(公社) 沖縄県栄養士会、沖縄県

問い合わせ先

沖縄大学地域研究所 沖縄県那覇市国場 405 番地
【TEL】098-832-5599 【FAX】098-832-3220
【MAIL】chicken@okinawa-u.ac.jp